



本校児童の「よさ・強み」について

校長 高柳 政行

2023年を迎えて早一ヶ月が経過し、あっという間に2月です。2月は、「逃げる月」とも言われ、一年間で一番短い月です。一日一日を大切にしたいものです。

今月号では、12月に行った学校評価に関わる児童アンケートについて児童自身が伸びを感じている項目を紹介します。基準は、前期アンケート及び昨年度アンケートを比較し両方とも伸びた項目としました。

☆学校教育目標 「考える子ども」(学力面)に関連した項目

- ②授業はわかりやすい 95.2%
- ⑤自分の考えや思いを言葉や文字にして表すことができる 85.9%
- ⑥これまでの学んだことを次の学習に生かしている 88.9%
- ⑦まわりの人と相談や話し合いなどしながら自分から学ぼうとしている 90.7%



☆学校教育目標 「思いやりのある子ども」に関連した項目

- ⑩まわりの人を大切にされた言葉がけや行いができる 91.6%
- ⑫まわりの人のことを考えている 95.0%

☆学校教育目標 「はたらく子ども」に関連した項目

- ⑬まわりの人と協力しながら生活や学習をすることができる 93.9%
- ⑰まわりの人のためになるような仕事をしている 91.4%
- *⑤と⑦については保護者アンケートも前期比で大きく伸びています。



これらは、児童自身が「よさ」を伸ばし、「強み」としていく過程であると考えます。それは、昨年や前期までの自分と比べ、様々な教育活動に主体的に取り組んだ成果であり、保護者や地域の皆様のご理解・ご協力のたまものです。また、本校教職員が教育活動における指導・支援等を繰り返し行ってきた成果だと捉えています。

特に、学力に関わる項目や人と関わる項目が伸びているのは、学校全体で取り組んだ校内研修の成果でもあると捉えています。

始業式の校長講話では、子ども達に自信をもってよいことだと伝えました。もちろん課題はあります。しかし、まずは、本校児童の「よさ・強み」を大いに評価したいところです。

なお、学校評価・各種アンケート結果や考察については、既にメール配信させていただきました。是非、資料をご覧ください。また、ご感想・ご意見等がありましたらお知らせください。

二ヶ月後には、お子さんは一つ上の学年に上がります。学年の一年を振り返り、各ご家庭におかれましても、お子さんの「よさ」や「強み」を思い浮かべてほしいと思います。まずは、その「よさ・強み」を大いに評価してあげてください。そして、課題はお子さん自身の口から話してもらい、「がんばれ」と励ましてあげてほしいと思います。

何かお困りのことがあれば、遠慮なく、ご相談ください。担任はもちろん、学年、担任外、教頭、校長など誰でもお話をお聞きする体制を整えています。また、スクール・カウンセラーに相談することもできます。子ども達のために、家庭でできること、学校でできること、また、地域でできることなど、互いに協力し合い、共に考えたり、悩んだりしながらも前に進んでいきましょう。